

12月議会が閉会しました

閉会にあたって

北朝鮮問題・相次ぐ米軍機の事故、核兵器禁止条約をめぐる世界が動く中での特別国会は、日米同盟を絶対視する安倍首相の異常な米国いなり政治が際立ちました。さらに、安倍首相が推進する「一人づくり革命」「全世代型社会保障」の実態は、消費増税10%押し付けと財界の求めに応じた雇用改悪、医療・介護・生活保護など社会保障の削減となつて貧困と格差を拡大するものです。

このような情勢のもとで12月市議会が開かれ、市議団5人全員が質問に立ち、矢切の斜面林の魅力と景観、学校跡地活用、防災対策、交通政策とまちづくり、北部市場跡地、納税緩和措置、主権者・平和教育、学校選択制、被爆者国際署名の取り組み、保育所待機児童と保育士確保、障がい者への支援、介護保険制度、終活支援、生活保護受給者の介護サービス利用、放課後児童クラブの充実、官製談合問題など25項目について市政を質しました。

来年度の広域化に向けた国保料は、3年前松戸市が一般会計からの繰り入れを凍結したことにより近隣他市よりも高くなることを解明し、国保料引き下げの公約を守るよう市長に迫りました。

市民課の窓口業務の委託化及び企業主導型保育事業を進める議案には反対しました。活かせ9条ネットから出された「憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行わないよう意見書の提出を求める」陳情には、13人が採択を求め賛成しました。

最後に、お忙しいなか傍聴に足をお運び頂き心からお礼を申し上げます。

2017年12月27日

日本共産党松戸市議団

憲法9条「自衛隊の明記」 反対の陳情で論戦 野党十無所属の13人賛成

「活かせ9条松戸ネットワーク」から提出された陳情は、総務財務常任委員会での議員間の意見交換というかたちで審査が行われ、国会の憲法審査会でのやりとりや、北朝鮮問題、自衛権の行使と自衛戦争の違いについて、さらに国への意見書提出の是非まで議論が行われました。

憲法審査会では、イギリスの下院委員長から「自衛隊の明記によって、防衛だけではなく攻撃もできるようになるということか」という率直な質問が寄せられるなど、安倍改憲の本質が見抜かれていることが報告されています。その上で憲法論議の本質を隠し、強硬に突き進む為政者の傲慢な姿勢こそが、市民の不安を招いているのだと厳しく指摘しました。

つづく北朝鮮問題では、唯一の解決策は外交努力であること、また自民党の憲法改正推進本部による整理で両論併記された9条2項削除による「国防軍創設」と「1項、2項を維持した上での自衛隊の明記」について、結果どちらの記述になろうとも目的は同じであり、自衛の名による戦争を可能とする改憲を許すか否かがいまの議論の本質であることを明らかにしました。

その上で、「自民党が世論を気にして党内でも改憲案をまとめ切れていない状況だからこそ地方から市民の声を届けることが必要である」「世界最強の軍隊と平和憲法のどちらが『平和と安定』を生み出してきたかは、歴史が証明している」として陳情への賛成を表明しました。採決では13人が賛成しましたが、自公・保守により否決されました。

公共施設「民間の間借り」は高くつく！ 健康福祉会館・ふれあい22

五香消防署の隣にある「ふれあい22」は、「常盤平保健福祉センター」「こども発達センター」「障害者福祉センター」「教育研究所五香分室」が入る複合施設です。

この「ふれあい22」について、地主が用意した土地・建物を市が年2億7千万円、20年間賃借するという契約が結ばれていました。今年度いっぱい契約が切れるため、継続に向けた話し合いが続けられていました。話し合いは、市側と地主側の賃借料に大きな違いがあり平行線となっていました。不動産鑑定を実施、また賃借ではなく買い取りの検討などもおこなわれる中で、最終的に土地建物を合わせ16億円で購入することで合意、その予算が議会に提案されました。

審査では、20年後の取り扱い（建物を市に譲渡するなど）について何も契約していないこと、20年間で5億円支払ってきた修繕費がほとんど使われず、外壁の塗り替えなども行われていないこと、建物は現状のまま購入し、仮に隠れた不具合があっても全て市の負担となつていくことなど、疑問点が次々と明らかになりました。

我が党は20年にわたり地域福祉と障害者福祉を先導的に担ってきた実績と今後の役割を考え、「ふれあい22」の存続を求めてきました。その立場から、隠れた不具合は購入前に調査し、修繕費用5億円分に見合う修繕を地主に求めること、購入費を可能な限り引き下げた交渉をすることなどを提案し、購入に賛成しました。

最終的には、この提案とほぼ同趣旨の「付帯決議」を全会派で共同提案し、購入議案とともに可決されました。民間に建物を建てさせ、公共施設として借り上げるという「民間活力導入」方式が、最終的には極めて「高くつく」ということを痛感する事例となりました。

「客引き禁止」の条例改正 市民への丁寧な周知を

これまで歩きタバコやポイ捨てなどを禁止対象としていた「安全で快適なまちづくり条例」に、キャバクラやフアッションヘルス等の「客引き行為等の禁止」が追加される事になりました。

審査に当たって重視した点は、「禁止行為」と「禁止ではない行為」の線引きと、指導のあり方です。

質疑では、店の宣伝などの「個人を特定しない」チラシやティッシュの配布のほか、脱原発や改憲反対などの市民活動・政治活動にもなう宣伝や署名、ビラの配布などは、「条例の禁止事項ではない」ことを確認しました。

これは「客引き禁止条例」が既につくられている船橋市で、市の職員が「脱原発のビラ配布は、客引き禁止条例の違反行為だ」と誤った指導を行った前例があるためです。船橋市議会の本会議で、「市民活動や政治活動は規制の対象とはならない」と明言していたにもかかわらず、こうした事態が発生していることから、松戸でも同様の問題が起こりかねません。

「市の職員でさえ誤った認識を持っていた事例がある以上、市民にはいっそう丁寧に、しっかりと周知を行い、誤解を恐れての市民活動や政治活動の萎縮を招かないように」と強く訴え条例改正に賛成しました。

「消費増税やめよ」など 国への意見書5本を提案

日本共産党は議会最終日、5本の意見書案を議会に提案しました。

- ①「消費税率を10%に引き上げをやめるよう求める」意見書を単独で、また②「働き方改革」推進法案の提出をやめよ③「障害児者の生きる基盤となる『暮らしの場』の早急な整備」④「原子力発電所の再稼働中止」⑤「普天間飛行場の撤去、辺野古新基地建設の中止」などをそれぞれ求めた意見書4本については、政策実行フォーラムと共同で提案しました。

共同提案の共産党と政策実行フォーラムに無所属議員も加わって、①と②は12名、③④⑤は13名の賛同が得られました。自公など保守会派は反対討論もしないまま否決しました。

私たちはこれまで自公など保守会派提案の意見書に対し、内容に異論がなければ賛成し、反対の場合はその論拠を明確にして反対討論をおこなうなど説明責任を果たしてきました。討論もせず反対するのは市民に對しての責任放棄と言わざるを得ません。

来る2018年を、 松戸市政の変革の年に！

2017年も暮れようとしています。県知事選、都議選、総選挙と大きな選挙をたたかい、激動の1年でした。多くの皆さんのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

安倍内閣が決定した2018年度の予算案では、医療・介護などの社会保障予算の「自然増」分は今回も1300億円削減され、6年間で小泉内閣時代を上回る1.6兆円もの大幅削減です。とりわけ、13年度から3年連続で切り下げられた生活保護費をさらに削減する一方、富裕層への優遇税制を拡大するなど、貧困層に一層の負担を強いるものになっています。

「子育て応援」と言いながら生活保護の母子加算や0～2歳児の児童養育加算も削減して「貧困の連鎖」を助長するとともに、教育や子育て、国民の暮らしに冷たく、富裕層・大企業を優遇する政治と「戦争をするづくり」を推進する予算となっています。

このようなときに、松戸市は、現市長と自民・公明などは、国の悪政の防波堤とはならず、保育所や特養、障害者施策など市民の暮らしや福祉充実より、大型開発を優先させようとしています。

2018年6月は市長選挙、11月は市議会議員選挙です。国の言いなりの松戸市政を市民とともに変え、草の根で一緒に行動する日本共産党市議団は、市長選、市議会議員選挙の躍進に全力で頑張る決意です。引き続きのご支援を心よりお願いいたします。

2017年12月市議会 主な審査結果一覧表	会派	日本共産党										政策実行フォーラム										無所属										公明党										まつど自民										市民クラブ									
		宇津野	高橋	山口	平田	一階堂	関根	原	谷口	DELI	増田	山中	中田	大橋	箕輪	桜井	城所	石川	伊東	飯箸	織原	諸角	鈴木	岩瀬	杉山	石井	鈴木	木村	張替	田居	平林	小沢	大谷	末松	深谷	市川	岩堀	大井	山口	中川																					
○：賛成×：反対（原案への態度） 12月議会で審議された31件の議案、陳情、意見書、付帯決議に対して、26件に賛成、5件に反対しました。	結果	宇津野	高橋	山口	平田	一階堂	関根	原	谷口	DELI	増田	山中	中田	大橋	箕輪	桜井	城所	石川	伊東	飯箸	織原	諸角	鈴木	岩瀬	杉山	石井	鈴木	木村	張替	田居	平林	小沢	大谷	末松	深谷	市川	岩堀	大井	山口	中川																					
一般会計補正予算第4回(市民課窓口業務の委託化)	一般議案	可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			
一般会計補正予算第5回(健康福祉会館の購入)	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																		
安全で快適なまちづくり条例の改正(客引き禁止の追加)	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
憲法9条への自衛隊明記に反対する陳情	陳情	不採扱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
生ごみ堆肥化施設の建設を求める陳情	陳情	不採扱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
松戸駅西口駅前通りの景観の保全を求める陳情	陳情	不採扱	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																
消費税10%への増税に反対する意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○															
「働き方改革」推進法案の提出をやめるよう求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○															
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の整備を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
原子力発電所の再稼働中止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
普天間飛行場の撤去、辺野古新基地建設の中止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													

会派名の略称 市:市民力 ※:議長のため採決には加わらない 敬称略

来年も、日本共産党松戸市議団をよろしくお願いいたします。